

報道記者発表資料 朝 来 市	提 出 日	令和 7 年 3 月 1 1 日
	問 合 せ 先	担当部署：観光交流課
		電話：079-672-4003
	担 当 者	課長：山内 睦
		担当：梶本 陽介
件名	竹田城跡でユニバーサルツーリズムのモニターツアーを実施	
朝来市は、兵庫県の「ユニバーサルツーリズム推進条例（通称）」及び「第3次朝来市観光基本計画」における施策メニューに掲げている“誰にも優しい観光地づくり”を目指し、その具現化となるユニバーサルツーリズムの受入れ整備に着手します。 これは、芸術文化観光専門職大学（以下、専門職大学）の教員及び学生の協力を得て、（一社）朝来市観光協会と共に、令和6年度はこれまで竹田城跡への登城を諦めていた方に登っていただける手法を検討してきました。今後の本格的なユニバーサルツーリズム推進の試験的な取り組みとして、高齢者で体力の自信のない方を想定した登城方法で実証実験を行います。 日 時 令和7年3月18日（火） 13：00 山城の郷・交流の館に集合（許可証の配布） 13：30 モニターツアー開始（中腹駐車場→竹田城跡→中腹駐車場） 16：00 中腹駐車場にて取材 16：30 片付け、解散 場 所 竹田城跡及び中腹駐車場 実施主体 朝来市、（一社）朝来市観光協会、芸術文化観光専門職大学、市内関係事業者 経緯・今後の展望 令和5年度に実施した朝来市と専門職大学との連携事業において観光課題に対する解決手法の一つとして、竹田城跡でのユニバーサルツーリズムの提案があり、令和6年度から実施に向けた協議、企画会議、実地調査を行い、具体的なプランを検討しました。 加えて、プランの磨き上げを行う一貫として専門職大学の学生メンバーが本事業の構想や計画についての研究成果を、1月に開催された「日本観光経営学会・次世代経営フォーラム」に応募・発表したところ「優秀賞」を獲得するなど注目を集めました。 竹田城跡のユニバーサルツーリズムについては、対象者の想定を広げ、受け入れ可能なパターンの検証を行い、さらに実施体制の構築や機材の調達、担い手の確保及び人材の育成を進め、観光コンテンツ・旅行商品として確立を目指します。加えて、令和7年度も継続して専門職大学と連携し、市内への意識醸成や竹田城跡以外のエリアでもユニバーサルツーリズムを推進していく予定です。		

竹田城跡ユニバーサルツーリズム 使用器具

■ J I N R I K I (ジンリキ) ※けん引式車椅子補助装置

使用場所：中腹駐車場～収受棟、城跡内平地



■ おすわり担架 ※防災用品

使用場所：収受棟～北千畳、城跡内階段



■ 籠 ※竹田お城まつりのかごかきレースで使用

使用場所：収受棟～北千畳、城跡内階段

